



Youtube



公式ホームページ

立憲民主党栃木県
第2区総支部長
(県連代表)
衆議院懲罰委員長
福田あきお

政権交代で「いのち・暮らし・事業」を守ります!!

皆さん今日は。福田あきおです。新型コロナウイルス感染症患者が大爆発し150万人を突破し、子どもや若い人にも急拡大しており、対応にご苦労されていることと存じます。

新型コロナウイルス対応は与党も野党もありません。私たちは、国民の皆さんのため「政府与野党連絡協議会」での様々な提案、法案提出等を行い政府を動かしてきました。

しかしながら政府の新型コロナウイルス対応も東京オリ・パラ対応もすべて後手後手でチグハグでした。医療施設がひっ迫し救える命が救えなくなっています。政府として機能していません。野党4党が憲法に基づき要求した臨時国会の開催も拒否したまま、自民党は総裁選を実施しています。総裁選をフルスペックで実施する時間は無いはずなのに。自ら政権を放棄したかのようです。

私たちは9月10日、国民の皆さんの「命と暮らしを守る」ため、この3週間で取り組む4つの緊急提言をまとめました。いよいよ政権交代へ向けてノロシを上げます。共にこの国の政治を直しましょう!

立憲民主党(2021.9.10)

コロナ対策 緊急提言 ポイント

3週間の人流抑制でリバウンドからの脱却を!

政府の対策

- ・不十分な取り組み
 - ・宣言解除基準の甘さ
- リバウンド
繰り返す

第5波がもたらした危機的な状況

- ・1日あたりの陽性者数や重症者数が過去最多を更新
- ・医療提供体制がひっ迫し、自宅療養者は10万人超
- ・積極的疫学調査も遅延・滞留が相次ぐ

そこで立憲民主党は、コロナ対策を見直し、リバウンドを防ぐ具体策を提案
最も重要な保健所・医療機関の本来機能を回復させ、感染状況を改善させる。

立憲民主党の緊急提言

今後3週間で集中的に
取り組むべき4項目

1 集中的な人流抑制等

追加支援策を実施

- ・低所得世帯や収入が大幅に減収した世帯等に1人10万円給付
- ・低所得の子育て世帯に対して、児童1人あたり5万円の特別給付金を再給付
- ・新たな持続化給付金の給付、家賃支援給付金の再給付 など
- 従来の解除基準において、さらに人流抑制策を実施 ⇨ 一層の新規感染者数減少へ
- 感染拡大地域では、昨年4月と同様に広範な事業者へ休業等を要請

家賃支援給付金
持続化給付金
休業等要請



2 医療・保健所の本来機能の回復

- 臨時医療施設の設置を促進し、入院できていない中等症患者が入院できる環境を実現
- 宿泊療養と自宅療養の患者の容態悪化に即応する体制を整備
- 保健所の積極的疫学調査体制をさらに強化
- 濃厚接触者に迅速な検査と通知を実施



3 出入国管理の徹底

- 第三国経由の入国者への検査強化
- 入国者は宿泊施設で10日間隔離し、その間3度のPCR検査を実施

4 子どもと親の命と健康を守るための措置

- 国がガイドラインを示しつつ、各教育委員会が休校・学級閉鎖等を判断
- 教職員への迅速なPCR検査とワクチン優先接種の体制構築
- 感染拡大地域では、必要な配慮をしつつ、生徒へのPCR検査を実施
- 休校や学級閉鎖を行う場合
 - ・進級、進学への不利益防止
 - ・オンライン授業等を行う際の環境の整備
 - ・保護者への学校等休業助成金・支援金の給付とテレワーク環境の整備
 - ・子どもの心や体調の変化などを早期に把握し対処できる体制の強化
- 学校や学童保育に通う場合
 - ・十分な衛生機材の確保など感染防止策の再徹底
 - ・分散学習等の実施に伴い学習指導員等を増員



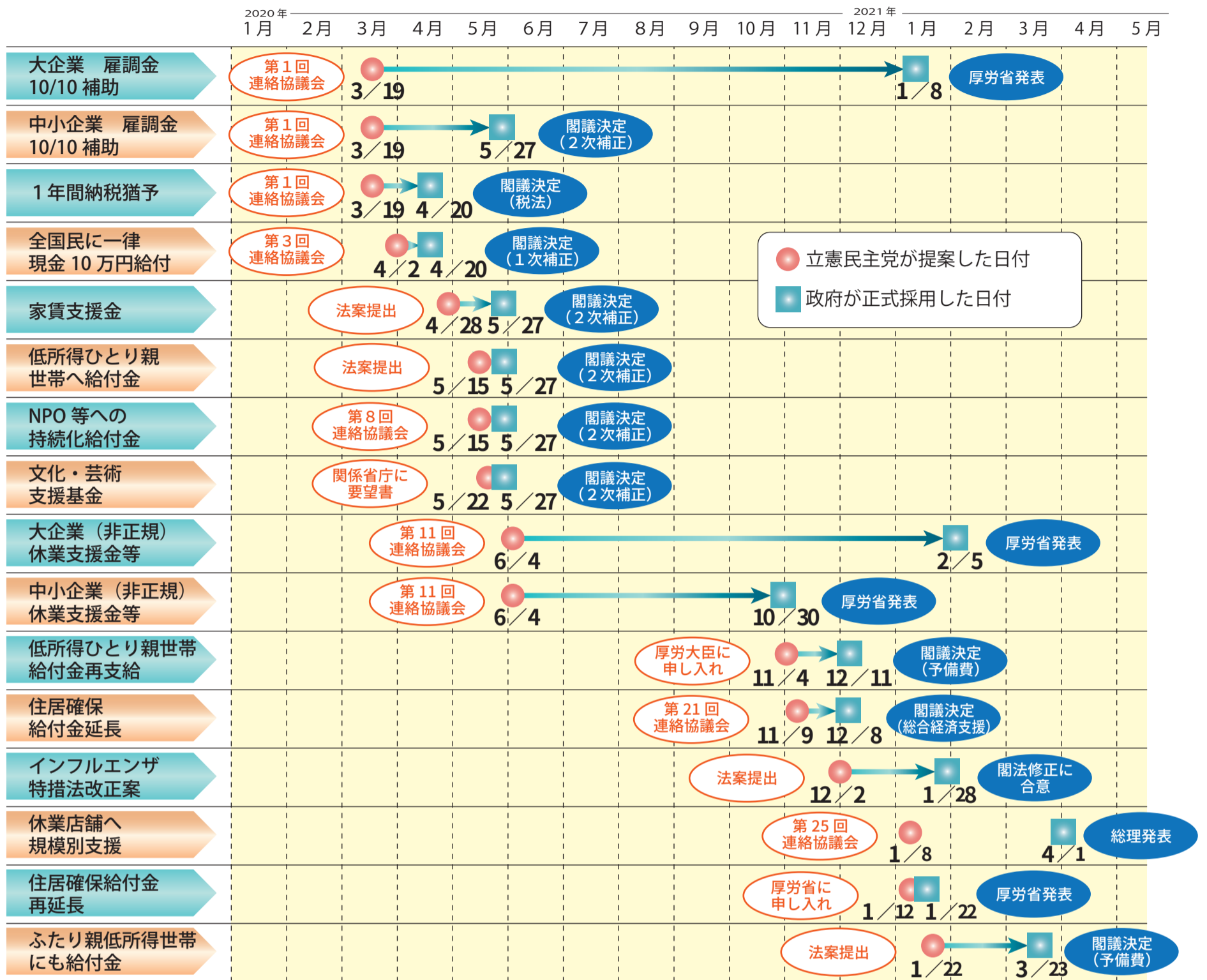
Facebook



AKIOFUKUDA_INSTACHANNEL

立憲民主党は、このようにして新型コロナ対策を実現してきた！

「政府・与野党連絡協議会」での提案、法案提出等が政府を動かしました！



政府与党が国会審議を拒否した

立憲民主党が会期末(6月)にまとめた「国民を守る補正予算案」総額33兆円！

1
いのちを守る
〈9兆円〉

- ・ PCR 検査の拡充
- ・ 入国管理の厳格化
- ・ 医療機関への支援
- ・ ワクチン加速化 等

2
暮らしを守る
〈6兆円〉

- ・ 家計急変・生活困窮者・低所得子育て世帯への給付
- ・ 失業手当の拡充
- ・ 学生支援 等

3
事業を守る
〈18兆円〉

- ・ 持続化給付金の再開
- ・ 協力金手続の加速化
- ・ 雇用調整交付金の特例延長
- ・ 地域公共交通・観光産業・文化芸術分野への支援 等